

大野川ダムにおける情報の提供







佐渡地域整備部 大野分室



目次

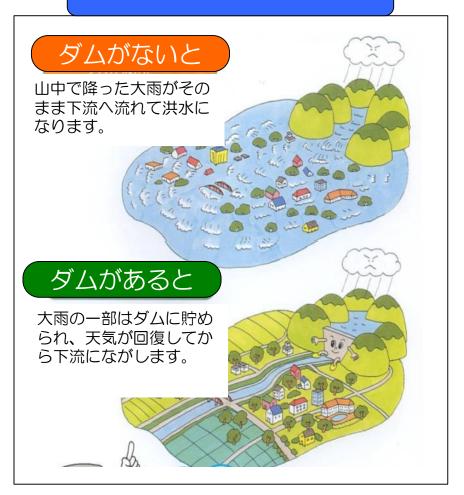
- 1.ダムの役割
- 2.大野川ダムの概要
- 3.大野川ダムの情報の提供
- 4.7月24日梅雨前線豪雨の洪水調節の状況

佐渡地域整備部 大野分室

1. ダムの役割



大雨のとき → 治水



日照りのとき→上水道・用水



1. ダムの役割(大雨のときの操作イメージ)



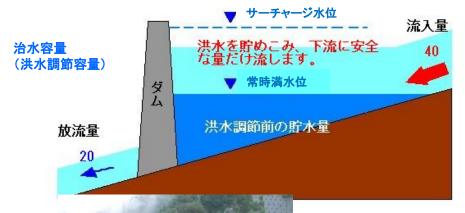
普通の状況

▼ サーチャージ水位 流入量 洪水を貯める場所です。 洪水に備え普段はあけておきます。 10 常時満水位 温水に備え、水道、農業用水を貯めています。



流入量とほぼ同じ 量を放流

大雨のときの操作



流入量より少なく 放流

大雨の水を一時貯めて

2. 大野川ダムの概要





- 完成:昭和53年10月
- 重力式コンクリートダム
- 高さ47m 堤頂長183m
- 総貯水容量139万m3
- ・治水・上水道・河川用水の目的
- 計画洪水量86m3/sの内75m3/s をカットし、11m3.sを放流

クレストゲート ・異常出水のときに使用

- ・※ダムの専門用語で「ただ
 - し書き操作」のときに使用

ホロージェットバルブ

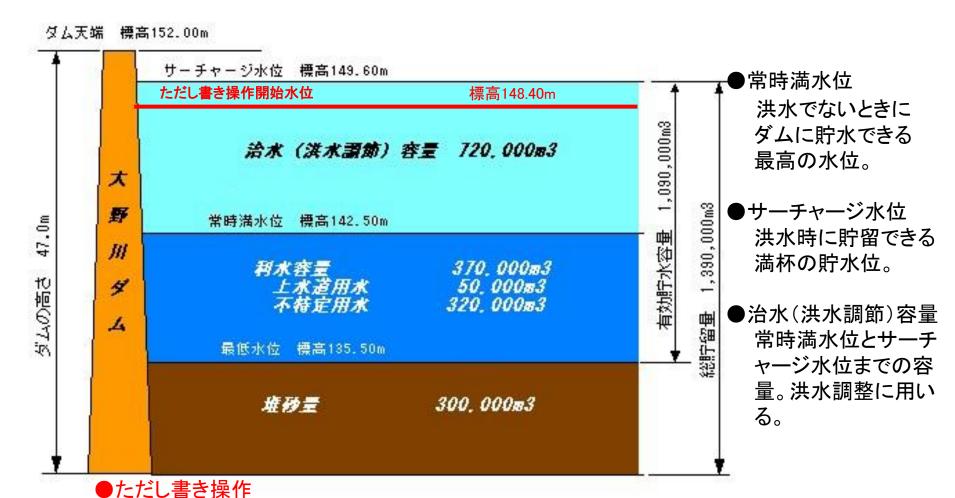
- 洪水調節時の放流に使用
- 放流量1~11m3/s

ジェットフローゲート

- 通常時の放流に使用
- 放流量0~1m3/s以下

2. 大野川ダムの概要





ダムの計画規模を越える異常出水が発生し、サーチャージ水位 を越えると予想されるとき、サーチャージ水位を超えないように放流量を増加させ、流入量に 近づける操作

2. 大野川ダムの概要



ただし書き操作を行ったケース(平成10年8月 大野川ダム)









3. 大野川ダムの情報の提供



体制移行基準

・大雨警報(浸水害)、洪水 警報発令等の待機基準となった場合

•流入量が9.6m3/sを超過

佐渡地域振興局 (大野分室)

警戒体制開始

洪水調節開始

「ただし書き操作」開 始3時間前、1時間前

「ただし書き操作」開始 30分前

「ただし書き操作」開始 約7分50秒

「ただし書き操作」開始

「ただし書き操作」終了

洪水調節終了

警戒体制終了

関係機関連絡

FAXで連絡

- •佐渡市
- •佐渡市消防本部
- •西•東警察署

●大野川ダム警報所以外の警報所のサイレン吹鳴(すいめい)

・般住民への周知

- ●警報車により周知
- ●大野川ダム警報所のサイレン 吹鳴(すいめい)

・標高148.40mに達する

・放流量が計画最大放流量 11.0m3/s以下

•流入量が9.6m3/sより低下

•大雨警報(浸水害)、

洪水警報解除

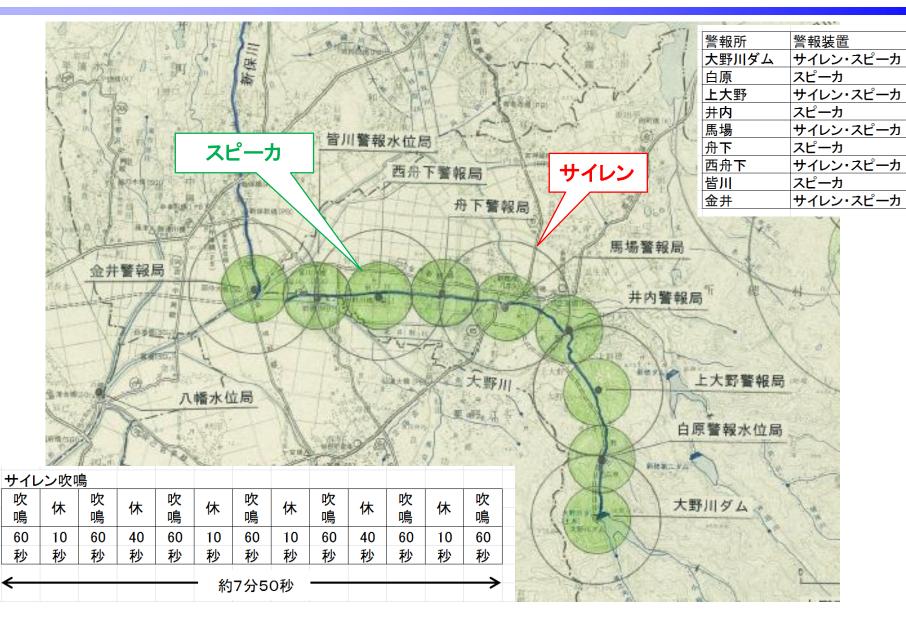
・今後、大雨の可能性なし

FAXで連絡

- •佐渡市
- •佐渡市消防本部
- •西•東警察署

3. 大野川ダムの情報の提供

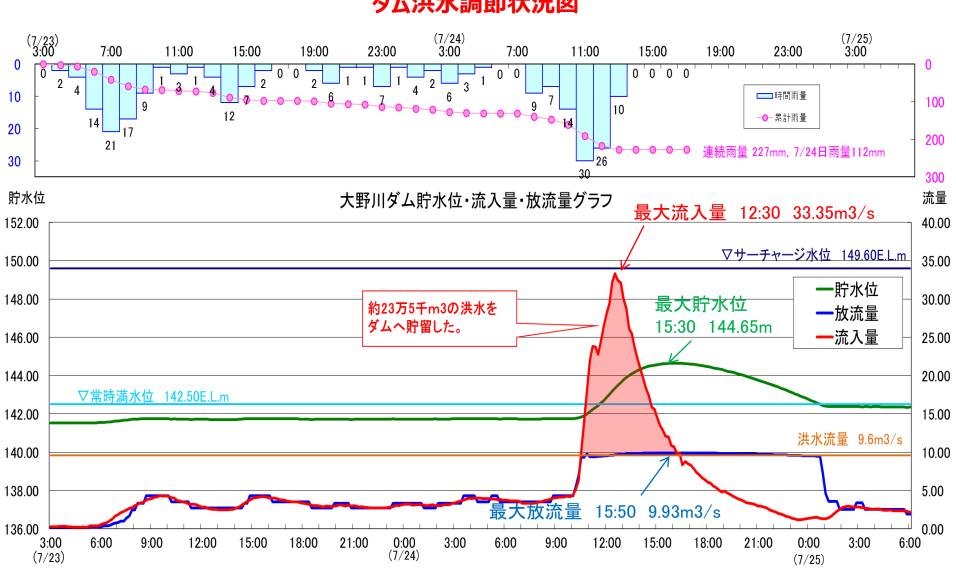




4. 平成29年7月24日梅雨前線豪雨時の洪水調節の状況



ダム洪水調節状況図



4. 平成29年7月24日梅雨前線豪雨時の洪水調節の状況



普通の状況





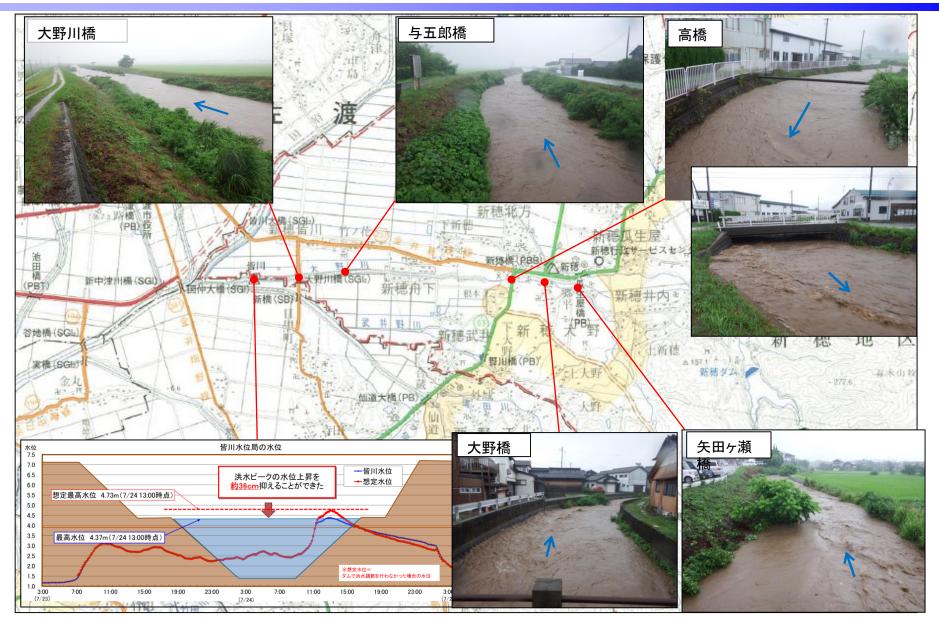
平成29年7月24日の状況





4. 平成29年7月24日梅雨前線豪雨時の洪水調節の状況





【参考】

平成10年8月4日豪雨の洪水調節の状況



平成10年8月4日 ダム洪水調節状況図

